

<p>【イベント名】 第4回 ロシアとの内視鏡テレカンファレンス</p>	<p>【概要】 第4回ロシアとの内視鏡テレカンファレンスは、消化管神経内分泌腫瘍（NET）の内視鏡診断と治療法に焦点を当てた。3件の胃、十二指腸および直腸NETの臨床例が提示された。理論的背景と患者管理の実践的な問題が参加者と内視鏡、内視鏡外科、病理の専門家を交えて議論された。</p>
<p>【期日】 2018.07.09</p>	
<p>【会場】 九州大学病院（日本）、ヤロスラヴリ地域癌病院（ロシア）、ヤロスラヴリ鉄道病院（ロシア）、JSC MEDSI 第2臨床病院（ロシア）、ノボシビルスク州立医科大学ノボシビルスク州地域病院（ロシア）、ウラジオストク鉄道病院（ロシア）、ニジニ・ノヴゴロド地域臨床腫瘍センター（ロシア）、ハバロフスク鉄道病院（ロシア）、国立心臓・内科センター（キルギス）、中央アジア研究教育ネットワーク（キルギス）、順天堂大学（日本）、ヴォログダ地域がんセンター（ロシア）</p>	



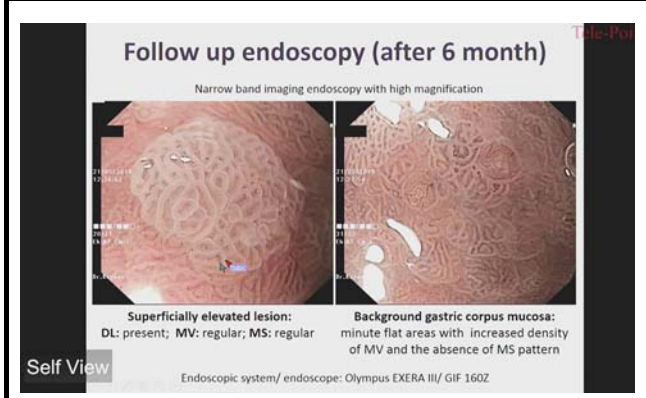
ハバロフスク鉄道病院の様子。

撮影場所：ハバロフスク鉄道病院



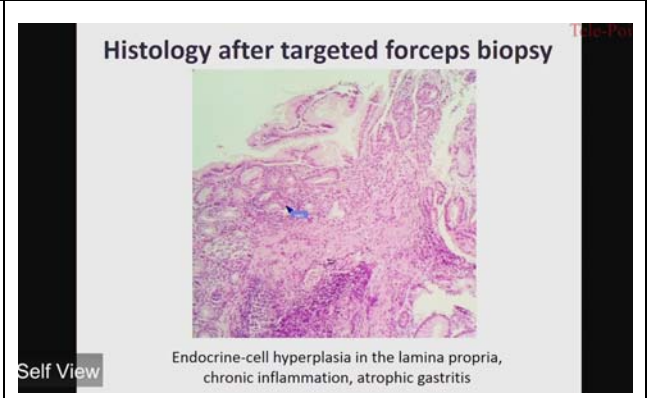
モニターに映し出される接続施設。

撮影場所：九州大学病院



テレポインターを用いた内視鏡画像の提示。

撮影場所：九州大学病院



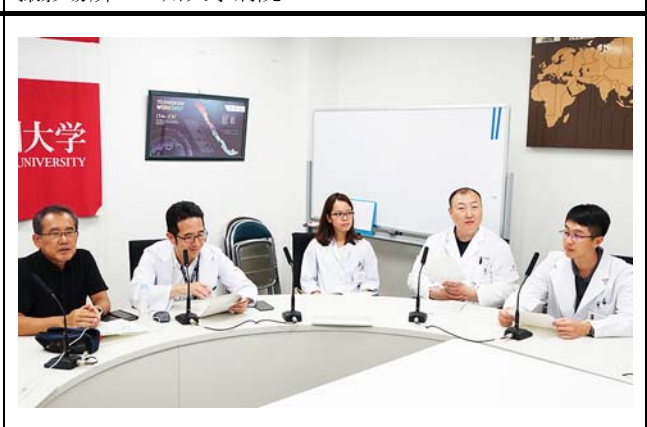
テレポインターを用いた病理画像の提示。

撮影場所：九州大学病院



国立心臓・内科センターの様子。

撮影場所：国立心臓・内科センター



九州大学病院の様子。

撮影場所：九州大学病院